資料２

第４回
鴻巣市上下水道事業運営審議会
（下水道事業）

令和７年１１月１４日

第３回での説明事項

- 改定方針（案）

改定率３２％を目標に、以下３案の検討を行う

ケース１	全ての水量区分に対し一様に値上げする
ケース２	基本使用料の水量区分を０～１２㎥までとする 基本使用料は1,440円で据え置き、従量使用料を一様に値上げする
ケース３	基本水量を廃止する 基本使用料は1,440円で据え置き、１㎥から従量使用料を設定する

３つの改定案を提示し、使用料体系を決めることを提案した

第３回での説明事項

- 改定単価（案）

現行単価に改定率を乗じ、小数第一位を四捨五入し整数とした

（２か月分、消費税抜き）（単位：円/㎥）

		～12㎥	13～16㎥	17～60㎥	61～100㎥	101～200㎥	201～400㎥	401～1000㎥	1001～2000㎥	2001㎥～	基本使用料割合
現行単価	基本	90（＝1,440円÷16㎥）									34.80%
	従量			115	120	125	135	145	155	165	
ｹｰｽ１ 改定率32%	基本	119（＝90円/㎥×1.32）									34.82%
	従量			152	158	165	178	191	205	218	
ｹｰｽ２ 改定率32%	基本	120（=1,440円÷12㎥）									26.27%
	従量		152	152	158	165	178	191	205	218	
ｹｰｽ３ 改定率32%	基本	90（=現行単価）									26.63%
	従量	90		115	120	125	135	145	155	165	

第３回での説明事項

• 現行使用料と各改定案における使用料の差額

（２か月分、消費税抜き）（単位：㎥，円，％）

使用水量	現行使用料	ケース１ 一律に値上げ（案）			ケース２ 基本水量区分変更（案）			ケース３ 基本水量廃止（案）		
		改定後使用料	差額	改定率	改定後使用料	差額	改定率	改定後使用料	差額	改定率
10㎥	1,440	1,904	+464	32.2%	1,440	+0	0.0%	2,340	+900	62.5%
12㎥	1,440	1,904	+464	32.2%	1,440	+0	0.0%	2,520	+1,080	75.0%
16㎥	1,440	1,904	+464	32.2%	2,048	+608	42.2%	2,880	+1,440	100.0%
60㎥	6,500	8,592	+2,092	32.2%	8,736	+2,236	34.4%	7,940	+1,440	22.2%
100㎥	11,300	14,912	+3,612	32.0%	15,056	+3,756	33.2%	12,740	+1,440	12.7%
200㎥	23,800	31,412	+7,612	32.0%	31,556	+7,756	32.6%	25,240	+1,440	6.1%
400㎥	50,800	67,012	+16,212	31.9%	67,156	+16,356	32.2%	52,240	+1,440	2.8%
1,000㎥	137,800	181,612	+43,812	31.8%	181,756	+43,956	31.9%	139,240	+1,440	1.0%
2,000㎥	292,800	386,612	+93,812	32.0%	386,756	+93,956	32.1%	294,240	+1,440	0.5%
3,000㎥	457,800	604,612	+146,812	32.1%	604,756	+146,956	32.1%	459,240	+1,440	0.3%

第３回での説明事項

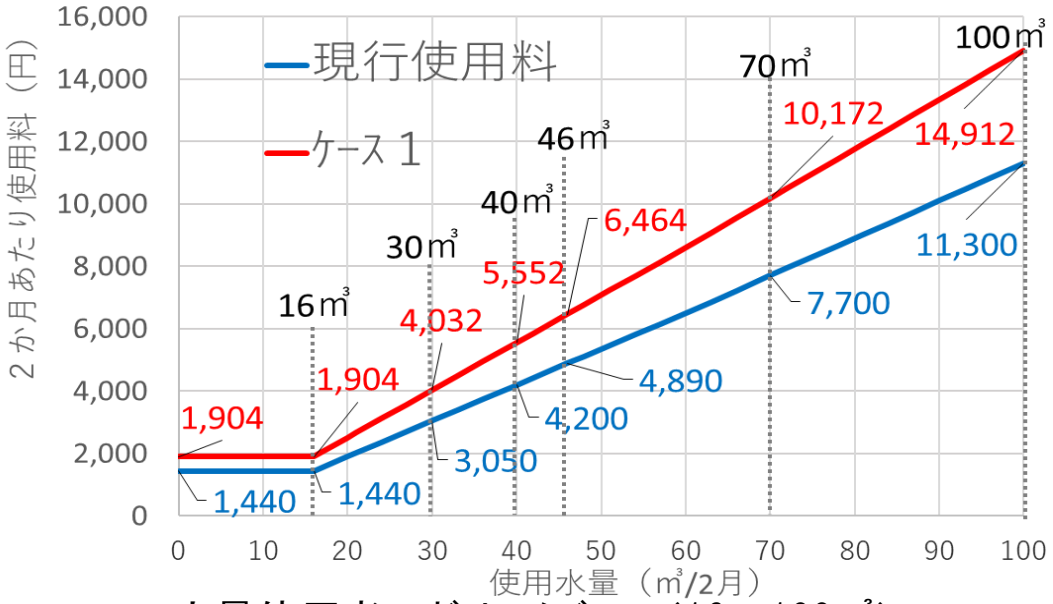
- モデルケースでの現行使用料と各改定案の比較

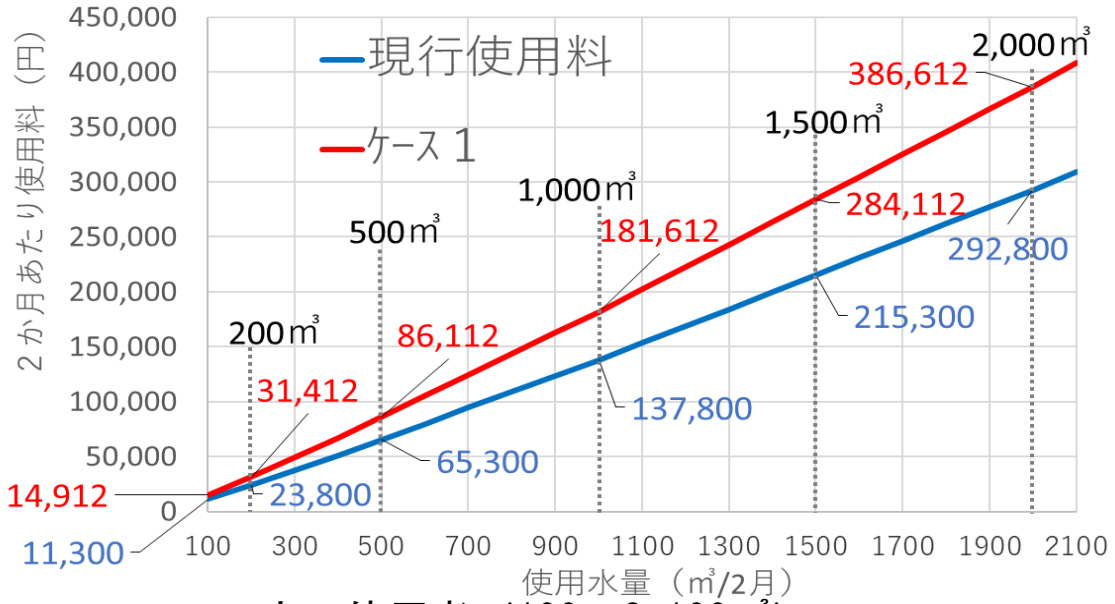
（２か月分、消費税抜き）（単位：㎥，円）

世帯人員	構成	使用水量	現行使用料	ケース１		ケース２		ケース３	
				使用料	現行との差額	使用料	現行との差額	使用料	現行との差額
1人	大人1人	16㎥ (16.2㎥)	1,440	1,904	+464	2,048	+608	2,880	+1,440
2人	大人2人	30㎥ (29.8㎥)	3,050	4,032	+982	4,176	+1,126	4,490	+1,440
3人	大人2人 子供1人	40㎥ (39.8㎥)	4,200	5,552	+1,352	5,696	+1,496	5,640	+1,440
4人	大人2人 子供2人	46㎥ (46.2㎥)	4,890	6,464	+1,574	6,608	+1,718	6,330	+1,440
事務所		200㎥	23,800	31,412	+7,612	31,556	+7,756	25,240	+1,440
事務所(大口)		1,000㎥	137,800	181,612	+43,812	181,756	+43,956	139,240	+1,440

第３回での説明事項

・【ケース１】について　全ての基本使用料、従量使用料を一律1.32倍した場合の改定案





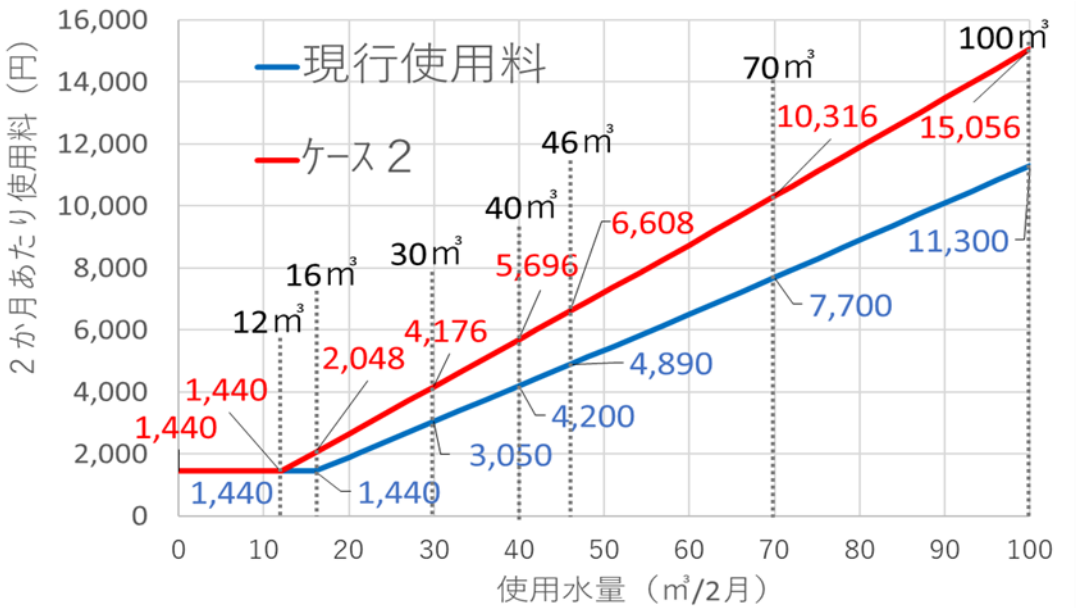
少量使用者・ﾎﾞﾘｭｰﾑｿﾞｰﾝ（16～100㎥）→（左のグラフから右のグラフへ続く）→ 大口使用者（100～2,100㎥）

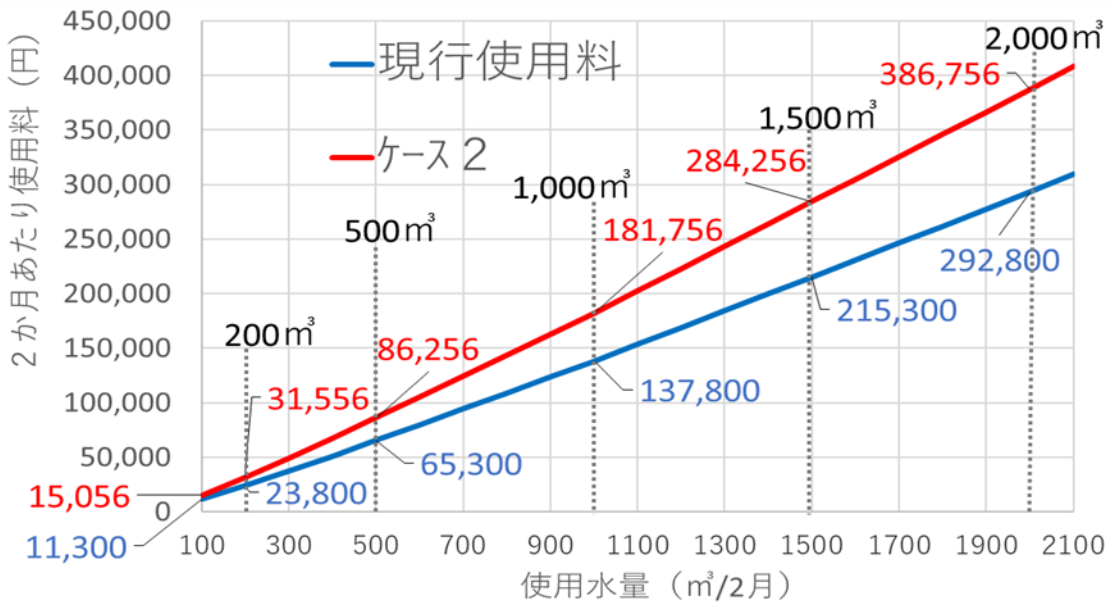
視　点	コメント	評価
下水道事業者（市）	・基本使用料の収入割合は現状維持　・改定率に差がない	😊
少量使用者（～16㎥）	・16㎥を除き、改定額がケース２よりも高くなる	😥
ボリュームゾーン（16～100㎥）	・42㎥までの使用者は、最も改定額が少ない	😊
大口使用者	・改定額がケース２より少なく、ケース３より高くなる	😥

第３回での説明事項

・【ケース２】について

基本使用料の水量区分を０～１２㎥までとし、基本使用料は1,440円で据え置き、従量使用料を一様に値上げする案





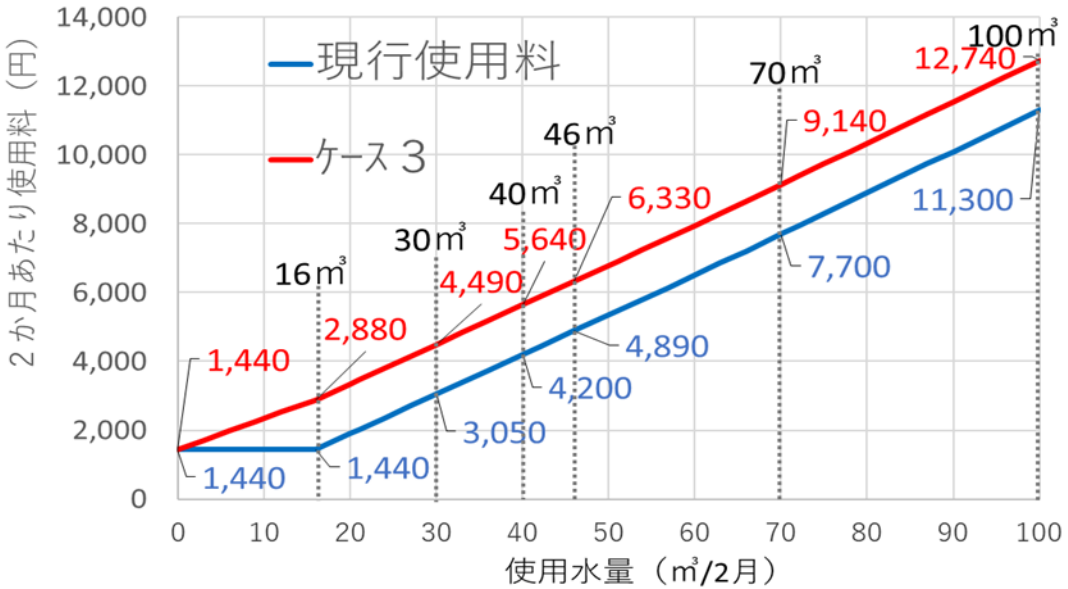
少量使用者・ﾎﾞﾘｭｰﾑｿﾞｰﾝ（16～100㎥）→(左のグラフから右のグラフへ続く)→ 大口使用者（100～2,100㎥）

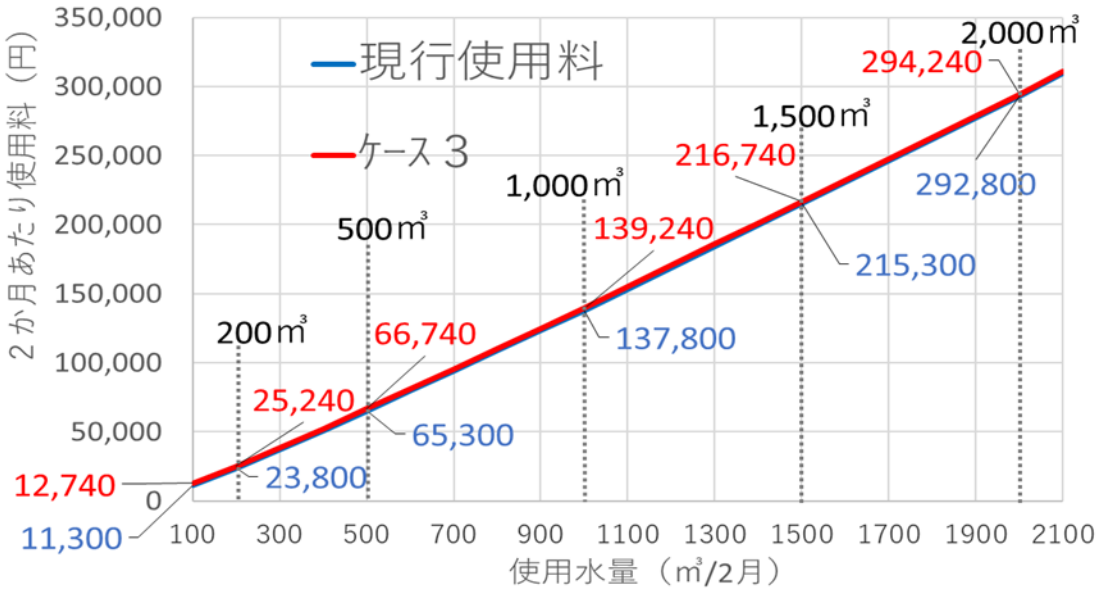
視　点	コメント	評価
下水道事業者（市）	・基本使用料の収入割合は減少　・従量使用料は収入増となる	😥
少量使用者(～16㎥)	・0～12㎥までの使用者は、改定の影響を受けない	😊
ボリュームゾーン(16～100㎥)	・改定額がケース１、ケース３よりも高くなる	😢
使用者（大口）	・改定額がケース１、ケース３よりも高くなる	😢

第３回での説明事項

・【ケース３】について

基本水量を廃止し、基本使用料は1,440円で据え置き、
１㎥から従量使用料を設定する案





少量使用者・ﾎﾞﾘｭｰﾑｿﾞｰﾝ（16～100㎥）→(左のグラフから右のグラフへ続く)→ 大口使用者（100～2,100㎥）

視　点	コメント	評価
下水道事業者（市）	・基本使用料の収入割合は減少　・従量使用料は収入増となる	😥
少量使用者(～16㎥)	・基本使用料内としていた水量区分に対しても従量使用料を付すため、負担増	😢
ボリュームゾーン(16～100㎥)	・43㎥以上の使用の場合、改定額がケース１、ケース２よりも少なくなる	😥
大口使用者	・改定額がケース１、ケース２よりも少なくなる	😊

第３回での説明事項

・【ケース１～３】まとめ

視点	ケース１	ケース２	ケース３
下水道事業者（市）	😊	😞	😞
少量使用者（～16㎥）	😞	😊	😢
ボリュームゾーン（16～100㎥）	😊	😢	😞
大口使用者	😞	😢	😊

	まとめ	
→	ケース１	改定率に差がなく、基本使用料の収入割合は現状維持
→	ケース２	0～12㎥までの使用者は、改定の影響を受けない
→	ケース１	42㎥までの使用者は、最も改定額が少ない
→	ケース３	改定額がケース１、ケース２よりも少なくなる

次回　第５回鴻巣市上下水道事業運営審議会

予定　　令和８年　１月１６日（金）

午前１０：００～

内容　　・答申案のとりまとめ